

テーマ：デジタル活用による地方創生の推進

講師：西 経子氏（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 次長）

日程：2024年6月24日



デジタル田園都市国家構想は、社会課題を成長のエンジンに変えていくことを目指し、そのためにデジタルを徹底的に活用しようという「地方創生」の取組みである。人口が減っていく中で豊かな社会を維持するためには、デジタルやロボットができる仕事はデジタルやロボットにやってもらい、人間は人間がやる仕事に集中する必要がある。

一方で、地方公共団体の職員数が減少する中、自治体の情報システム担当者が1名以下の自治体が2割弱あり、デジタル化を進めるための人材自体が不足している状況もある。導入するシステムをできるだけ共通化し、デジタル化の現場負担を減らすことが重要である。

具体的にデジタル化の成果の出ている分野としては、教育分野でのデータ共有や介護分野での生産性向上などが挙げられる。また、好事例の横展開のため、優れた取組みを「Digi田（デジでん）甲子園」で表彰するとともに、デジタル庁のカタログに掲載することで、他の自治体が真似しやすい環境を整備している。表彰事例には、例えば、人工衛星とAIを活用し水道管の健康状態の見える化を進めている水道DXなどがある。

デジタルの分野はPDCAが早く回せる特徴がある。また、ベンチャーの方々の参画も多い。デジ田構想は新しい資本主義の実現に向け成果を出していくことのできる取組みと考えている。

青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科を卒業後、農林水産省入省。米国コーネル大学にてMBA取得。埼玉県農業政策課長、農林水産省食品企業行動室長、内閣総理大臣官邸国際広報企画官、農林水産省農村政策推進室長、和食室長、食文化・市場開拓課長、大臣官房政策課参事官、大臣官房国際部国際政策課長、畜産局総務課長などを経て、2022年7月から現職。（2024年7月より農林水産省大臣官房審議官（技術・環境））

